

11 樋門用プレキャストカルバート



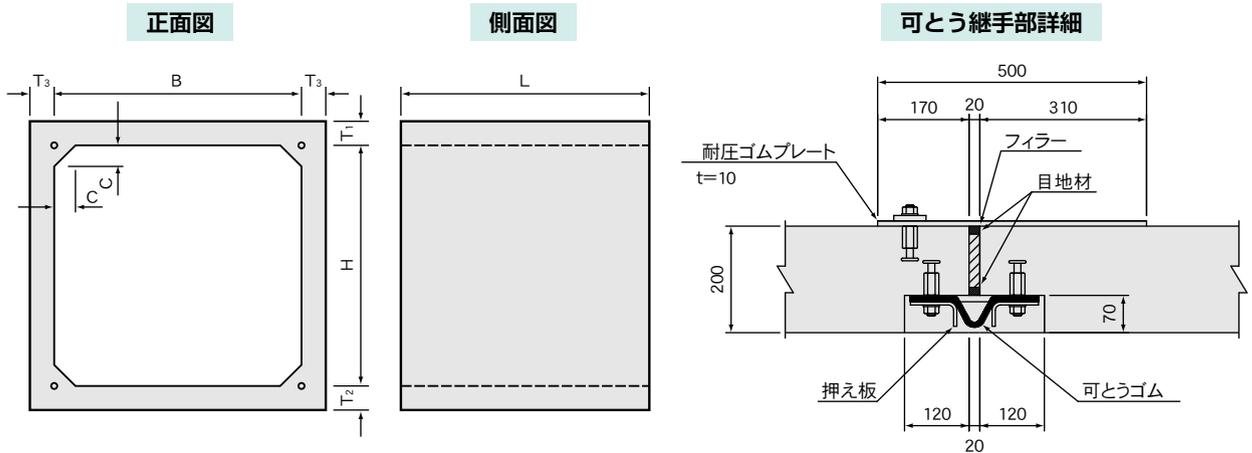
治水施設のうち河川堤防を横断して設けられる樋門は、それ自体が堤防としての機能を有しているが、樋門の函体と堤体土との重量・剛性等の相違から函体と周辺土は密着し難く、特に地盤の沈下が大い軟弱地盤における支持杭基礎の樋門においては、函体底版下の基礎地盤や周辺堤防に空洞が発生する例が少なくない。この空洞は洪水時の河川堤防の安全を脅かす重大な課題として認識され、その対策が急がれていた。

これらの問題に対処するため、国土交通省は、(財)国土開発技術センターに対策工法の調査・研究を委託し、多くの試験施工等の結果、樋門は周辺堤防の安全性の確保を優先して考えるべきであり、この観点から樋門の設計法を従来の「支持杭による剛支持方式」から「直接基礎を主体とする柔支持方式」に転換すべきであるとの結論に達した。(柔構造樋門設計の手引き (財)国土開発技術センター発行 より抜粋)

樋門用プレキャストカルバートは、「柔構造樋門設計の手引き」より開発されました。

特長

1. 現場施工での省力化・工期が大幅に短縮され、トータルコストの縮減が図れます。
2. 従来のプレキャストカルバートと同様に熟練工を必要とせず簡単に施工ができます。
3. 工場製品であり品質が安定しています。



呼名 幅(B)×高さ(H)×長さ(L)	参考質量 (kg)	頂版 T ₁	底版 T ₂	側壁 T ₃	ハンチ C
1000×1000×2000	4820	200	200	200	150
1250×1000×2000	5300				
1250×1250×2000	5780				
1500×1000×2000	5780				
1500×1250×2000	6260				
1500×1500×2000	6740				
1750×1500×2000	7220				
1750×1750×2000	7700				
2000×1750×2000	8180				
2000×2000×2000	8660				

※上記以外の寸法も賜りますので各営業担当まで御一報ください。